

公共施設予約管理システム導入事業

1. 事業の概要

事業名称	公共施設予約管理システム導入事業
実施年度	令和7年度
交付対象事業費	2,590,500円
うち交付金額	1,291,250円
事業概要	市民が公共施設の空き状況確認・予約・利用料支払いをオンラインで完結できるシステムを導入。窓口・電話での予約に依存していた従来手続をデジタル化し、市民の利便性向上と職員の業務効率化を図る。

2. 交付金の具体的使途

区分	事業内容	支出方法	設備・備品・役務の種類	金額（円）
システム初期構築	システムの設計・構築・初期設定	委託	クラウド型予約管理システム（SaaS）初期構築費	2,508,000
月額利用料	システム利用料（令和8年3月導入につき1か月分）	委託	クラウド型予約管理システム利用料（月額・1か月分）	82,500
合計	－	－	－	2,590,500

支援対象者:市内公共施設の利用者（市民・市内団体等）、施設管理者（指定管理者）、施設所管課

3. 実施体制

主体	区分	役割
浦添市	事業推進主体	事業計画立案、事業管理等、システム管理者
株式会社パストラーレ	委託先（直接契約）	予約管理システムの提供、運用保守
株式会社DGフィナンシャルテクノロジー	委託先（直接契約）	決済システムの提供、運用保守
各施設指定管理者	事業協力者	導入検討、施設管理者

事業推進主体である浦添市が事業計画の立案・事業管理およびシステム管理を担っています。システムの提供・運用保守は株式会社パストラーレと、決済システムの提供・運用保守は株式会社DGフィナンシャルテクノロジーと、それぞれ浦添市が直接委託契約を締結しています（再委託関係はありません）。また、各公共施設の指定管理者が導入検討および施設管理者として事業に協力しています。

4. 調達に関する情報

調達方法	公募型プロポーザル
契約方式	委託契約
契約金額	2,590,500円（税込）
契約期間	令和7年11月～令和8年3月

5. 効果検証の結果

検証概要

対象施設:市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター、学校体育施設（いずれも直営／回収率100%） | リリース日:令和8年3月17日 | 検証期間:令和8年3月17日～5月31日 | 検証方法:施設担当者へのヒアリング、システム利用データの集計

(1) 主要成果 ※令和8年3月17日～5月31日

キャッシュレス化（コンビニ決済含む） 現金納付を廃止し決済・収納事務を効率化 （両施設）	53.7% オンライン予約率 （ハーモニー）	40分→5分 予約受付の所要時間 （ハーモニー）	▲50% 窓口・電話予約件数 （ハーモニー）	年320件→月1件 伝票作成 （学校体育）
---	-------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

(2) 効率化された作業 と 今後の改善に向けた着目点

✓ 効率化された作業

- 現金納付を廃止しキャッシュレス（コンビニ決済含む）に一本化 → 現金取扱・収納事務を効率化
- 受付・転記作業の消滅、情報精度の向上
- 紙許可書・財務伝票の大幅削減
- 抽選会の会場費・運営人員を削減（学校体育）
- 委託先も収納状況を確認可能に

▶ 今後の改善に向けた着目点

- 過渡期の操作・支払い案内で1件あたり拘束時間増
- 高齢者への操作サポート（週2～3回）
- 還付処理が手作業で残る（両施設共通）
- 抽選申込入力・利用者登録（学校体育）
- 従来帳票の抽出ができない（学校体育）

(3) 総括

令和8年3月17日にリリース（稼働開始）し、同日から5月31日までの期間で効果検証を実施した。両施設ともシステム導入を機に現金納付を廃止し、キャッシュレス（コンビニ決済含む）に一本化することで現金取扱・収納事務を効率化した。あわせて受付時間の短縮（40分→5分）や伝票・許可書の大幅削減など、導入効果は明確。過渡期の操作サポート負担や利用者UIに課題が残るが、職員の習熟については研修動画・マニュアル（管理画面掲載・随時更新）が既に整備済みである。還付処理は現状手作業だが、件数の推移を注視し、増加時には有償の還付オプション活用を費用対効果を踏まえ検討する。これらの運用改善により、次年度以降の定着と対象施設の拡大を図る。

担当課・お問い合わせ先

浦添市 行政改革推進課 電話:098-876-1713 メール:gyoukaku@city.urasoe.lg.jp